

亀川地区総合防災訓練

1 訓練目的・概要

熊本地震から2年を迎えるにあたり、地震発生に伴う大津波警報発令下での住民避難について検証するため、災害時要援護者への対応、徒歩避難困難者に対するバスの活用、緊急停止した電車からの乗客避難、津波避難ビルに一時避難した住民の救助（中止）等を盛り込んだ訓練とした。

2 訓練日時

平成30年4月15日（日）10時30分～12時00分

3 場所

亀川地区全域（避難訓練）、別府市立北部中学校（最終集結場所）

4 訓練実施者・参加機関

- (1) 亀川地区自主防災会（亀川住民）
- (2) 亀川地区防災士会
- (3) 特別養護老人ホーム 友和苑
- (4) 特別養護老人ホーム 和幸苑
- (5) デイサービスかなわ
- (6) 九州旅客鉄道株式会社 大分支店
- (7) 大分交通株式会社
- (8) 亀の井バス株式会社
- (9) 株式会社日清観光
- (10) 別府市消防団
(団本部・第8分団1部、2部・第9分団1部、2部・第10分団1部、2部)
- (11) 別府市北部地域包括支援センター
- (12) 北部中学校
- (13) 亀川小学校
- (14) 別府警察署
- (15) 別府市消防本部
- (16) 別府市水道局
- (17) 別府市社会福祉協議会
- (18) 別府市

5 訓練参加人数

774名（報道発表：約800名）

（内訳）亀川地区自主防災会（亀川住民）及び亀川地区防災士会 464名

鉄道車両からの避難訓練（JR関係者含む）155名（報道発表：約160名）

その他参加機関 155名

6 訓練想定

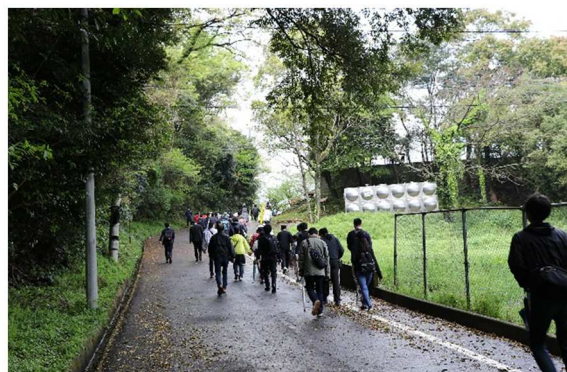
平成30年4月15日（日）10時30分 別府湾でマグニチュード7.2規模の地震が発生し、別府市は震度7を観測。気象庁は地震による津波の発生の恐れがあるとして、瀬戸内海沿岸に大津波警報を発表。

亀川地域もブロック塀の倒壊や道路の一部陥没・亀裂が生じている状況。

7 実施内容

(1) 避難訓練（亀川地区住民対象）

10時30分の地震発生とともに、地域内の支援を要する者等に対し声掛けや支援を行いながら各町内で定める避難先へと避難、その後最終集結場所（北部中学校）まで移動した。



(2) 避難者移送訓練（亀川地区住民・大分交通・亀の井バス・日清観光）

徒歩での長距離避難が困難な者を、一時避難先からバスにて最終集結場所（北部中学校）まで移送した。



(3) 鉄道車両からの避難訓練（亀川地区住民・JR九州職員）

地震で緊急停止した電車から、車椅子や盲導犬利用者を含む乗客が緊急脱出し、更に最終集結場所（北部中学校）まで避難した。



(4) 防災関連ブース（北部中学校集結者）

北部中学校に「地震体験」「災害ボランティア活動紹介」「給水」「救護所」「防災食配付」のブースを設置、集結した住民等が防災講話開始までの間自由に体験・見学・利用した。





(5) 防災講話（北部中学校集結者）

和歌山大学・西川准教授による鉄道防災についての講話を、北部中学校集結者全員で聴講した。



(6) 閉会式

JR支社長挨拶、市長挨拶、亀川地区支部長講評を以って訓練を終了した。



(7) 鉄道車両避難訓練意見交換

鉄道車両避難訓練に参加した障がい者とJR担当者との間で意見交換を行った。



※ 津波避難ビルからの救出訓練（消防本部・大分県防災航空隊）も予定していたが、中津市耶馬溪町で発生した実災害対応のため中止となった。